

2020（令和2）年度事業計画について

1、基本方針

（1）大学等を超えた高等教育振興策等の研究開発（継続）

18 歳人口減少に伴い大学等間・地域間の学生獲得競争が激化している。学生から選ばれる、学んで良かったと思われる大学・短期大学および地域となるためには、多様な学習機会の提供や魅力的で質の高い教育、県内高校との高大接続の促進などが急務である。大学等が集積しているスケールメリットを活かすため、大学等を超えた高等教育振興策等を研究開発する。

（2）SDGs の推進（継続）

国連で採択されたSDGsの滋賀県における普及推進に向けて、各大学等で取り組む学生活動について情報共有するとともに、県内の大学等や学生が連携した取り組みを行う。

2、事業の実施

（ ）内は前年予算額

（1）大学地域課題解決支援事業 【2,304,000 円】（2,283,000 円）

1) 方針

- ① 2019（令和元）年度に新規採択した事業（8 件）については、中間報告会や報告書により進行状況を確認し、その成果を大学と地域が共有し教育研究等の活性化やコンソーシアム全体としての情報発信に寄与しているかという観点で精査し、より充実した成果が望める事業に限り2年目の事業予算を措置する。加えて2020（令和2）年度の新規事業についても申請内容を精査し選考を行う。
- ② 大学地域交流フェスタを彦根市と共催し、学生団体と地域団体や地域リーダーとの交流を図った。引き続き、会員市（長浜市）との共催により地域との交流を行う。
- ③ 終了したプロジェクトの評価、実施中のプロジェクトの指導・助言、次年度プロジェクトの適切な選考のために、主な大学等の教員からなる「選考委員会」を設置する。

2) 予算案 2,304,000 円

- | | |
|------------------|---------|
| ① 大学地域課題解決グループ助成 | 180 万円 |
| ② 大学地域交流フェスタ開催費 | 30.4 万円 |
| ③ 「選考委員会」選考謝礼等 | 20 万円 |

(2) 学生支援事業 【1,900,000 円】 (1,000,000 円)

1) 方針

- ① 引き続き「SDGs 学生委員会」を設け、各大学等で実施される学生主体の SDGs の普及推進にむけた取り組みについて情報共有する場とし、学生間の積極的な参加と交流を促進する。
- ② 学生の視点を活かした SDGs を切り口にした滋賀の魅力を発信するための印刷物を制作する。完成した印刷物は、環びわ湖大学・地域コンソーシアム等のホームページに掲載し、観光案内所や宿泊施設などに設置する。
- ③ 県内学生等 SDGs 活動支援事業として、ポスターセッションや事例発表等の交流会開催について助成を行う。

2) 予算案 1,900,000 円

- | | |
|------------------------|-------|
| ① SDGs 学生委員会活動交通費 (継続) | 25 万円 |
| ② 技術指導料 | 75 万円 |
| ③ SDGs 補助事業 | 90 万円 |

(3) 就職支援事業 【250,000 円】 (200,000 円)

1) 方針

- ① 滋賀で就職を考える学生に合同企業説明会等の情報提供を行うとともに、「しが就活塾」などに滋賀県などと一緒に取り組んでいる。引き続き、「学生の県内就職準備活動の支援」に活動の重点を置き、「しが就活塾」について関係機関等と合同開催に取り組むとともに、インターンシップの促進や学生の就業促進について、県の取り組みを支援する。
- ② 行政機関、経済団体等と協力し、滋賀県内の優良企業を広く学生に認知を促すとともに、より多くのマッチングを実現するために、県・市・経済団体等が開催する合同企業説明会に共催・協力として取り組む。
- ③ 滋賀経済産業協会の協力により、実施を希望する大学向けに企業採用経験者による模擬面接会を実施する。
- ④ 大学等の就職支援担当職員の研修を実施する。

2) 予算案 250,000 円

- | | |
|----------------------------|-------|
| ① 合同企業説明会の支援 (継続) | 0 万円 |
| ② 学生合同業界研究事業 (「環びわ・しが就活塾」) | 15 万円 |
| ③ 大学就職担当者・企業人事担当者情報交換会 | 5 万円 |
| ④ 大学等就職支援担当職員研修会の開催 | 5 万円 |
| ⑤ 就職支援関係機関連絡会議の開催 | 0 万円 |

(4) 単位互換事業 【1,400,000 円】 (1,400,000 円)

1) 方針

- ① 単位互換事業として、各大学から提供される科目の単位取得事務を継続する。
- ② 単位互換パンフレットの内容を更新する。
- ③ 大学間共同 PBL 科目として開設した「おうみ学生未来塾」を継続する。

2) 予算案

① 単位互換パンフレットの内容更新・印刷	50 万円
② 「おうみ学生未来塾」開講助成 (300 千円×3 大学)	90 万円
(5) 広報事業 (事務局担当)	【 600,000 円】 (300,000 円)
① レンタルサーバー契約料	10 万円
② ホームページ作成委託費入	50 万円
(6) 全国大学コンソーシアム協議会事業	【 82,000 円】 (190,000 円)
① 協議会会費	3 万円
② 研究交流大会 大学コンソーシアム大阪 (関西大学) 参加費・資料費、旅費 (吹田市・2 名分)	4.2 万円
③ 協議会監事出張	1 万円
(7) 滋賀県からの委託料<予定>	【1,300,000 円】 (1,300,000 円)
大学連携政策研究事業 「県内大学等におけるリカレント教育振興のための政策研究事業」	130 万円
(8) コンソーシアム運営の研究費	【 100,000 円】 (700,000 円)
当コンソーシアムの運営上の問題点を解決し、大学と地域との連携に関し、コンソーシアムが果たす役割、果たせる役割について検討するための研究を行う。	
① 委員謝金・交通費等	10 万円

3、管理運営

(1) 顧問料	【 398,000 円】 (372,000 円)
顧問には、引き続き滋賀の高等教育の今後の方向とそれに対するコンソーシアムの役割の基本方針を検討する重要な時期にあたるため、月額 3 万円の相談料及び交通費を計上する。 なお、顧問に関しては、すべて事業費とする。	
(2) 事務所賃借料負担金	【2,836,000 円】 (2,826,000 円)
滋賀大学大津サテライトと共同利用の日本生命大津ビルの定期賃貸契約を予算化する。 なお、室料、光熱水費等に関しては事業費と管理経費を 8 : 2 で按分する。 看板掲出料はすべて管理経費とする。	
○室料 (月額 175,740 円+税) ×12 月=2,319,768 円 内 事業費 1,856,000 円、 管理経費 464,000 円	
○看板掲出料 (月額 20,000 円+税) ×12 月=264,000 円 内 管理経費 264,000 円	

2020（令和2）年度 大学地域連携課題解決支援事業部会 事業計画

1. 事業方針

地方創生にふさわしい持続可能なまちづくり、歴史に学びながら未来を切り拓くまちづくりを進めるため、地域の課題解決に大学と地域（自治体や地域住民など）と連携して取り組む大学地域連携課題解決支援事業の効果的な実施に取り組む。

また、これらの事業を活用して、地域住民や自治体と大学・学生との交流の活性化など、双方が共に発展できる機会を創造する。

2. 主な取り組み

○大学地域連携課題解決支援事業（継続）

令和元年度に新規採択した事業（8件）については、中間報告会や報告書により進行状況を確認し、その成果を大学と地域が共有し教育研究等の活性化やコンソーシアム全体としての情報発信に寄与しているかという観点で精査し、より充実した成果が望める事業に限り2年目の事業予算を措置する。加えて令和2年度の新規事業についても申請内容を精査し選考を行う。

（事業概要等）

- ・地域における様々な課題の解決に向けて、大学と地域が協働で取り組む教員と学生の活動、学生同士の活動に対して、活動助成を行う。
- ・1プロジェクトの支援額は単年度15万円を上限とし、採択件数に応じて支援額を調整する。
- ・助成対象はコンソーシアムに加盟する自治体（滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、草津市、甲賀市、東近江市）と連携する事業とする。単年度もしくは2年の事業計画を提出してもらい審査を行う。
- ・11月頃に「環びわ湖大学地域交流フェスタ」を開催し、支援事業の中間報告会を行い、各事業の進捗状況を確認する。
- ・「環びわ湖大学地域交流フェスタ」について、各事業（学生）間の交流を促す方策等の実施内容について部会で精査を続けていく。

（令和2年度事業スケジュール）

令和2年1月10日～2月21日 支援事業募集期間

3月4日（水）	選考委員会において採択（助成金）の審議
4月中旬頃～年度末	支援（助成）期間
11月頃	中間報告会（環びわ湖大学地域交流フェスタ＜長浜市＞）
3月中旬	報告書提出

3. 事業予算案 230万4千円

<内訳>

大学地域連携課題解決支援事業助成金	180万円
支援事業選考委員会費	20万円
大学地域交流フェスタ事業費	30.4万円

以 上

2020（令和2）年度 学生支援事業部会 事業計画

（事業計画概要）

1. 2020（令和2）年度学生支援事業計画について

令和元年の学生支援事業は、県内13大学から選出された学生によるチームを複数編成し、学生自らの企画立案、取材、撮影、編集により、SDGsや持続可能な社会を実現する活動やアイデアにかかる動画コンテンツを制作した。学生は、「知る」、「調べる」、「コミュニケーションする」、「考える」、「表現する」、「広める」、「仲間をつくる」を実践することで、地域の持続可能な取り組みについての理解を深め、相互交流をするとともに、県内外に向けて滋賀の取り組みを発信することができた。

2020度は、前年度の事業のコンセプトである「学生による滋賀のSDGsや地域の魅力の発信」というテーマを継承・発展し、引き続き「滋賀のSDGs」に焦点をあて、地域の魅力発信に貢献する事業を展開したい。

（1）事業のあり方

大学間および地域の自治体との連携によるSDGsに関連する活動を認知するとともに、学生の視点による滋賀の魅力をSDGsの枠組みの中でとらえ、学生の柔軟な発想をもとに印刷物（リーフレットやタブロイド版フリーペーパー等）を制作し、情報を発信する。制作における技術指導等には、業者への委託を検討する。

（2）コンセプト

SDGsの枠組みでとらえた滋賀の魅力を発見・発信

（3）目的

- ①地域の人々との交流を通して地域の特性を理解する。
- ②国連の「持続可能な開発目標」（SDGs）について学ぶ。
- ③学生が大学の垣根を越えて交流・学習する。
- ④琵琶湖だけではない滋賀の奥深い魅力や特長を認知し、発信する。
- ⑤事業の取り組み、成果を幅広い層に発信する。
- ⑥プロジェクトでの取り組みを通じて、学生の学びと成長に寄与する。

（4）活動内容

滋賀県の13大学から選出された学生で複数のチームを編成し、コンセプトに沿った活動を行う。具体的には、参加学生が県内のSDGsの取り組みやSDGsに焦点を当てた滋賀の魅力を取材し、収集した情報を効果的に発信するために成果物を制作する。そのために必要な知識や技術についてのサポートは、デザイン会社等に委託する。活動については、参加学生が主体となっており、必要に応じて各大学の教職員や委託業者が支援をする。完成したものは、環びわ湖大学・地域コンソーシアム等のホーム

ページに掲載し、事業の成果物として観光案内所や宿泊施設などに設置を依頼する。

(5) 事業の進め方

① 参加学生の募集

各大学2名を目安として事業に参加する学生を選出する。昨年度の参加学生が継続して参加することを妨げない。

② 各大学におけるSDGs関連事業の取り組み

勉強会や交流会等の体験を通じて、参加学生がSDGsにかかる理解を深め、それぞれの大学における取り組みを推進し、発信するとともに大学間ネットワークを構築する。

③ 滋賀のSDGs紹介する印刷物の制作

滋賀県内のSDGsに関連する取り組みや新スポットを紹介する印刷物を制作する。印刷物のコンセプト、取材や写真撮影の流れについては、委託業者にも打ち合わせに入ってもらった上で決定する。

④ 次年度に向けた効果検証会議の開催

2020年度学生支援事業の到達点と次年度に向けた課題について振り返りを行う。

2. 予算

① 参加学生の活動に関わる諸経費 (会議交通費、現地訪問時の交通費、交流費等)	<u>250,000 円</u>
② 委託会社への委託費・技術指導料・印刷費等	<u>700,000 円</u>
④ 勉強会の講師招聘	<u>50,000 円</u>
合計	<u>1,000,000 円</u>

3. 学生支援事業部会の組織体制について

主担当：立命館大学、副担当：龍谷大学、副担当：成安造形大学で運営する。

4. 今後の進め方

2020年4月以降に立命館大学より学生支援事業に関する諸連絡を行う。

以 上

県内大学学生等SDGs活動支援事業

趣旨

〇企業や大学でのSDGs宣言やSDGsの啓発、地域課題解決に向けた行動等、各大学でのSDGsに関する活動が広がっており、次世代を担う若者が、SDGsに一体的に取り組むことにより、県内全体への社会の変革につながる取組を促進する。

(参考：知事と学長の意見交換会において、個々の大学が一同にSDGsの取組を披露しあうイベントの開催の提案)

令和２年度の取組

『SDGs県内大学つながる月間（仮称）』

【事業概要】

〇SDGsマップの作成により、各大学の取組を一体的に発信
①ポスターセッションや事例発表等の交流会の開催

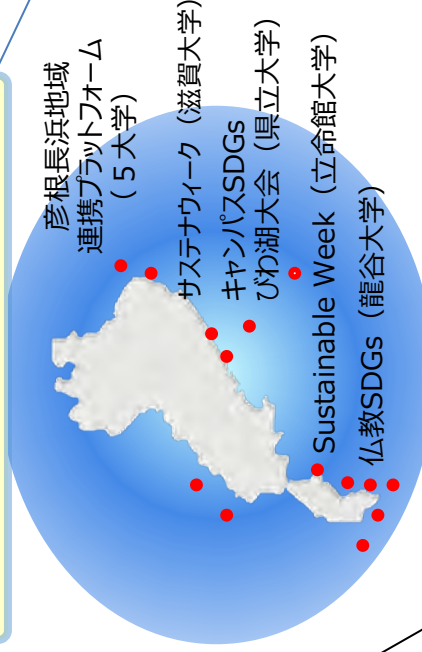
【実施主体等】

〇学生による実行委員会が実施
・自由な発想によるテーマ設定
・他大学との交流方法を検討
・若者が参加しやすい工夫を検討

【県からコンソーシアムへの支援】

「環びわ湖大学・地域コンソーシアム
SDGs活動支援補助金」
補助対象：コンソーシアム

学生SDGs活動の取組を育てる



県内大学学生等SDGs活動支援補助金

【事業概要】

〇県内大学学生のSDGsに対する認知度向上を目的に、学生、県民共同の事業に対して支援する。

【補助金交付対象】

〇県内に立地する大学・短期大学

【補助対象事業】

〇SDGs認知度向上に向けた取組
〇SDGs達成につながる学生活動

【補助額】

補助率：1／2

大学の垣根を越えて
SDGsの活動をつなげる

地域課題の解決

令和３年度以降の取組

〇企業、団体、NPO等の多様な主体とつながり、県内全体をSDGsの輪でつなぐ

2020（令和2）年度 就職支援事業部会 事業計画

令和元年度は、滋賀で就職を考える学生に合同企業説明会等の情報提供を行うとともに、「しが就活塾」などに滋賀県などと一緒に取り組んだ。

引き続き、「学生の県内就職準備活動の支援」に活動の重点を置き、「しが就活塾」について関係機関等と合同開催に取り組むとともに、インターンシップの促進や学生の就業促進について、県の取り組み等を支援する。

1 学生の就職に直結する事業

(1) 合同企業説明会の支援

行政機関、経済団体等と協力し、滋賀県内の優良企業を広く学生に認知を促すとともに、より多くのマッチングを実現するために令和元年度同様、県・市・経済団体等が開催する合同企業説明会に共催・協力として取り組む。

<令和2年度開催計画>

以下の予定を基本に協力していく。

- ・共催：湖北地区 2回、東近江地区 1回、甲賀地区 1回
- ・協力：大津地区 3回、東近江地区 2回、湖南地区 2回
- ・その他：湖東地区 1回、甲賀地区 1回
- 計 13回

(2) 企業採用経験者による模擬面接会

滋賀経済産業協会の協力により、実施を希望する大学向けに企業採用担当者による模擬面接会を実施する。

2 学生の就職準備支援に関する事業

学生の就職準備として、就職年次生だけではなく低年次生にも地元企業の魅力に触れる機会を創出することを目的とし平成24年度から開始した事業であり継続して実施する。過去の事業実施成果としては、以下のとおり。

平成25年度 企業訪問会 ※平成25年度以降、滋賀県中小企業団体中央会と協力

平成26年度 企業訪問会、ミニインターンシップ

平成27年度 企業訪問会、滋賀の企業研究セミナー

平成28年度から令和元年度 「環びわ・しが就活塾」業界研究、ワークショップ

令和2年度 「環びわ・しが就活塾」業界研究、ワークショップ（予定）

※企画内容については、滋賀県商工観光労働部、滋賀県中小企業団体中央会と協議し決定する。

3 大学就職担当者と企業人事採用担当者との情報交換事業

地元優良企業への採用と定着を踏まえ、学生の就職支援に繋げることを目的として、企業人事採用担当者と加盟大学就職担当者の情報交換会が滋賀経済産業協会の主催で開催される。

4 大学就職担当者間の情報交換事業

令和元年度は、各大学の就職担当者向けに、「伴走型の就職・キャリア支援」、「就活における企業と学生の本音と大学への要望」をテーマにした研修会を開催した。本年度も加盟大学の意見や要望を集約して、就職担当者の力量向上のために外部講師等を活用した研修会を企画し実施する。

5 就職支援関係機関連絡会議

大学生の県内就職の現状ならびに関係機関および大学の取組について、情報共有し意見交換を行う。

6 予算案

就職支援事業

(1) 合同企業説明会の支援	0 円 (0 円)
(2) 学生の就職準備事業（環びわ・しが就活塾）	150,000 円 (150,000 円)
(3) 大学就職担当者・企業人事担当者情報交換会	50,000 円 (50,000 円)
(4) 大学就職担当者の研修会	50,000 円 (50,000 円)
(5) 就職支援関係機関連絡会議	0 円 (0 円)
合計	250,000 円 (250,000 円)

※ () は令和元年度予算

以 上

2020（令和2）年度 単位互換事業部会 事業計画

1. 担当校

主担当校：立命館大学

副担当校：長浜バイオ大学・聖泉大学

2. 2020 年度環びわ湖大学・地域コンソーシアム単位互換事業計画（第3回幹事会にて報告）

2020 年度の単位互換事業については、2019 年 11 月 14 日に開催した「第2回単位互換事業委員会・教務担当者合同会議」にて審議された。原則として従来の実施方策にもとづいて事業を進めることと承認された。

各大学での学生募集について意見交換を行ったところ、各種ガイダンスや学内ツールを活用した広報を展開しているが、広報期間の短さや履修登録から開講までに時間が開くことから（後期開講科目も前期中に登録を行うなど）、学生募集が難しい状況にあるとの意見が出された。また、最近では各大学で広報物のデジタル化が進んでおり、データでの配信や公式インスタグラムの開設など、現状行っている紙媒体での広報からの工夫が必要であるとの意見があった。

現在は、同会議で承認された、以下の「2020 年度 単位互換事業開講・出願スケジュール」に則り、提供科目の時間割編成等に着手している。

なお、出願書等の各種書類フォーマットおよび事業告知に使用するポスター・リーフレットについても、当初の予定通り、既存のものを踏襲して使用することとなった。

《 2020 年度単位互換事業開講・出願スケジュール 》

月日	教務日程	備考
1 月 27 日（月）	【開講】2020 年度提供科目報告期限	所定フォーマット
3 月 2 日（月）	【開講】2020 年度開講科目シラバス最終原稿締切	
3 月中旬	【開講】2020 年度「募集ガイド」HP 掲載	
4 月上旬	【出願受付】募集ガイダンス・出願受付	
～4 月 9 日（木）	【出願受付】出願受付 <各大学> ※許可発表以前に開講される科目は仮受講を認める。	各大学の状況に応じて設定
4 月 13 日（月） 17:00	【出願受付】「出願票」提出期限 <各大学→科目提供大学>	所定フォーマット
4 月 14 日（火）～ 4 月 20 日（月）	【出願受付】出願者の選考 <科目提供大学>	
4 月 21 日（火） 17:00	【出願受付】選考結果連絡 <科目提供大学→学生所属大学、事務局大学>	所定フォーマット
4 月 22 日（水） ～4 月 23 日（木）	【出願受付】許可発表 ※各大学の状況に応じてこの日までに設定。	
随時	【出願受付】受講登録	所属大学で随時
4 月 27 日（月）～ 5 月 8 日（金）	【追加募集】追加募集対象科目の選考 <科目提供大学>	
5 月 11 日（月） 17:00	【追加募集】追加募集対象科目の報告 <各大学→事務局大学> ※夏期集中・後期科目を対象とする。	所定フォーマット
5 月 13 日（水）	【追加募集】追加募集対象科目一覧の送付 <事務局大学→各大学>	

5月20日(水)～ 6月3日(水)	【追加募集】追加募集受付 <各大学>※許可発表 以前に開講される科目は、仮受講を認める。	各大学の状況に応じて設定
6月8日(月) 17:00	【追加募集】追加募集「出願票」提出期限 <各大学→科目提供大学>	所定フォーマット
6月9日(火) ～16日(火)	【追加募集】追加出願者の選考 <科目提供大学>	
～6月18日(木) 17:00	【追加募集】追加募集選考結果連絡 <科目提供大学→学生所属大学、事務局大学>	所定フォーマット
6月19日(金) ～6月26日(金)	【追加募集】許可発表 ※各大学の状況に応じてこの日までに設定。	
随時	【追加募集】追加募集許可者の受講登録	所属大学で随時
7月27日(月)～ 8月4日(火)	【再追加募集】追加募集対象科目の選考 <科目提供大学>	
8月17日(月) 17:00	【再追加募集】追加募集対象科目の報告 <各大学→事務局大学> ※後期科目を対象とする。	所定フォーマット
8月19日(水)	【再追加募集】追加募集対象科目一覧の送付 <事務局大学→各大学>	
8月20日(木)～ 8月31日(月)	【再追加募集】追加募集受付 <各大学> ※許可発表以前に開講される科目は仮受講を認める。	各大学の状況に応じて設定
9月3日(木) 17:00	【再追加募集】追加募集「出願票」提出期限 <各大学→科目提供大学>	
9月4日(金) ～9月10日(木)	【再追加募集】追加出願者の選考 <科目提供大学>	所定フォーマット
～9月14日(月) 17:00	【再追加募集】追加募集選考結果連絡 <科目提供 大学→学生所属大学および事務局大学>	所定フォーマット
9月17日(木) ～9月23日(水)	【再追加募集】許可発表 ※各大学の状況に応じてこの日までに設定。	
随時	【再追加募集】追加募集許可者の受講登録	所属大学で随時

3. 2020 年度環びわ湖大学・地域コンソーシアム単位互換事業提供科目

2020 年度における提供科目数は下表の 70 科目であり、2019 年度における提供科目数 76 科目に比べて 6 科目減少した。受講者数が減少傾向にあるため、提供科目について加盟大学がご協力いただいている。「おうみ学生未来塾」は、2018 年度と同数の 3 科目を開講する。

科目番号	提供大学	科目名	単位	回生	単位互換定員	開講期間	曜日	時限
1	滋賀大学	欧米の文化	2	1以上	10名程度	春学期集中	—	—
2		近江のくらしと文化	2	1以上	10名程度	春学期	金	1
3		国際文化システム特殊講義(世界遺産学)	2	1以上	10名程度	春学期	火	5
4		データサイエンスへの招待	2	1以上	10名程度	春学期	月	3
5		彦根・湖東学	詳細調整中					
6		文学からの問い	2	1以上	10名程度	秋学期	金	4
7	滋賀医科大学	哲学入門	2		若干名	前期	火	2
8		医療イノベーションの基礎	2		若干名	前期	水	4

9	滋賀県立大学	おうみ学生未来塾(湖東)	2	2以上	30名(全定員)	夏期集中	-	-
10		SDGsと滋賀のグローバル・イノベーション -近江の暮らしとなりわい-	2	不問	100名(全定員)	夏期集中	-	-
11		地域コミュニケーション論	2	不問	10名程度	春期集中	-	-
12		世界遺産のまちづくり・ひとづくり	2	不問	10名程度	後期	月	3,4
13		びわこ環境行政論	2	不問	10名程度	後期	月	4
14		地域産業・企業から学ぶ社長講義	2	不問	10名程度	後期	月	4
15	滋賀短期大学	秘書実務Ⅰ	1	1以上	若干名	前期	水	3
16		秘書実務Ⅰ	1	1以上	若干名	前期	水	4
17		近江学入門	2	1以上	若干名	前期	木	1
18		オフィス総論	2	1以上	若干名	前期	金	1
19		秘書実務Ⅱ	1	1以上	若干名	後期	水	2
20		秘書実務Ⅱ	1	1以上	若干名	後期	水	3
21		現代社会と福祉	2	1以上	若干名	後期	木	1
22		心理学	2	1以上	若干名	後期	木	1
23	滋賀文教 短期大学	視覚文化	2	1以上	若干名	春学期	調整中	調整中
24		中世の文学	2	1以上	若干名	秋学期	調整中	調整中
25	成安造形大学	近江学B(大学連携・地域連携型PBL科目 「おうみ学生未来塾(湖西)」)	2	1以上	若干名	前期集中	-	-
26		文化史B	2	2以上	若干名	後期	木	2
27		琵琶湖の民俗史	2	1以上	若干名	後期集中	-	-
28		デザイン史概説A	2	1以上	若干名	前期	火	1
29		デザイン史概説B	2	1以上	若干名	後期	火	1
30		東洋・日本美術史概説A	2	1以上	若干名	前期	水	1
31		東洋・日本美術史概説B	2	1以上	若干名	後期	水	1
32		西洋美術史概説A	2	1以上	若干名	前期	木	1
33		西洋美術史概説B	2	1以上	若干名	後期	木	1
34	聖泉大学	滋賀論	2	2	若干名	前期集中	-	-
35		心理学概論A	2	1	若干名	前期	-	-
36		運動心理学	2	2	若干名	前期	-	-
37		発達心理学	2	1	若干名	後期	-	-
38		知覚・認知心理学	2	2	若干名	前期	-	-
39	長浜バイオ 大学	生物学基礎	2	1以上	5名以内	前期	水	2
40		基礎微生物学	2	1以上	5名以内	前期	金	1
41		遺伝子工学	2	1以上	5名以内	後期	金	1
42		おうみ学生未来塾(湖北)	2	2以上	全定員36名	夏期集中	-	-
43	びわこ学院 大学	子ども学総論	2	1以上	若干名	春学期	-	-
44		滋賀の環境	2	1以上	若干名	秋学期	-	-
45		メンタルトレーニング論	2	2以上	若干名	春学期	-	-
46		レクリエーション論	2	1以上	若干名	春学期	-	-
47		生活と福祉	2	1以上	若干名	秋学期	-	-
48	びわこ成蹊 スポーツ大学	スポーツバイオメカニクス	2	2	若干名	前期	未定	未定
49		地球の歴史と琵琶湖	2	2	若干名	前、後期	未定	未定

50	龍谷大学	生活の中の数学	2	1以上	15名	前期	水	3
51		里山学	2	1以上	10名	前期	月	3
52		環境の科学	2	2以上	20名	後期	月	2
53		社会貢献論	2	2以上	不問	前期	火	2
54		社会企業論	2	2以上	不問	後期	火	3
55		まちづくり論	2	2以上	不問	後期	水	1
56		性与人権	2	2以上	不問	後期	水	3
57		コミュニティ論	2	1以上	不問	後期	火	4
58		びわ湖・滋賀学	2	2以上	不問	後期	水	1
59		社会人類学	2	2以上	不問	前期	木	3
60		環境社会学	2	2以上	不問	後期	木	3
61		植物生理・生化学 I	2	1以上	20名	後期	水	1
62		食と嗜好の科学	2	1以上	20名	後期	月	4
63		日本・京滋の食料と農業	2	1以上	20名	後期	木	2
64	立命館大学	ODA・国際援助論(E)	2	3	10名程度	夏集中	—	—
65		経済学特殊講義Ⅱ(金融・証券分析基礎)	2	2	10名程度	夏集中	—	—
66		情報技術と社会(TA)	2	1	10名程度	春学期	火	3
67		生命科学概論	2	1	10名程度	春学期	月	5
68		薬学概論	2	1	5名程度	春学期	火	1
69		スポーツマネジメント論	2	2	10名程度	—	—	—
70		衛生学(公衆衛生含む)	2	2	10名程度	—	—	—

以 上

2020（令和2）年度 広報事業計画

1. ホームページのデザイン変更、レンタルサーバーの移転、

滋賀県が推進するSDGs事業について、加盟大学の取り組みなどを紹介するために、容量の大きいレンタルサーバーに変更をする。

あわせて、ホームページのデザイン変更を進める。

2. ホームページの更新

定例的にホームページ掲載している内容を随時更新し、当コンソーシアムの取り組み内容等の周知を図る。

また、関係団体のイベント情報も随時掲載し、地域との連携の更なる強化を図る。

3. 予算

① ホームページデザイン制作料	<u>500,000 円</u>
② レンタルサーバー契約料	<u>100,000 円</u>
合計	<u>600,000円</u>